

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	10	事業名	臨時場外車券売場開設経費		事業の性質別	裁量的経費	区分			
予算事項名	大事項	臨時場外車券売場開設経費		中事項	臨時場外車券売場開設経費		部課名	競輪事業部事業課		
事業開始年度	平成 2 年度	根拠法令等	あり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律・政令・省令名(自転車競技法, 自転車競技法施行規則 <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(自転車競走条例, 自転車競走条例施行規則)					電話番号	0138-51-3121

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 市営函館競輪の開催にあたり、全国各地の競輪場、サテライト場に臨時場外車券売場を設置し、各臨時場外車券売場で車券発売を行うことにより全国の競輪ファンによる当市開催競輪の車券購入を促進する。</p> <p>【必要性】 平成26年度において、市営函館競輪の売上構成のうち臨時場外車券売場の割合は64.7%となっており、その収益は約555百万円である。単年度収支の黒字維持には、臨時場外車券売場の維持拡大が必須である。</p>
内容	市営函館競輪開催時の臨時場外車券売場開設にかかる全国各地の競輪場、サテライト場の施設賃借料や業務委託料、業務代行協力費、地元対策費等の経費

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		1,746,164	1,417,372	1,601,579	1,599,293	2,409,007	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		1,746,164	1,417,372	1,601,579	1,599,293	2,409,007	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 1.00 7,508	人工 1.00 7,218	人工 1.00 7,290	人工 1.00 7,290	人工 1.00 7,512	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費 (B)	7,508	7,218	7,290	7,290	7,512	0
総事業費計 (A+B)		1,753,672	1,424,590	1,608,869	1,606,583	2,416,519	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
臨時場外車券売場開設延日数	日	1,990	2,239	2,735	
臨時場外車券売場売上高	円	11,752,602,600	9,146,156,500	10,099,714,300	
臨時場外車券売場収益金額	円	642,843,676	540,706,151	555,187,950	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	臨時場外車券売場収益金額 ※H24はG I 開催
------	-----------------------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	臨時場外車券売場収益金額の確保が図られている。 (消費税増税の影響で、開設経費は増大したが、収益金額は前年度より増加し約555百万円を確保できた。)
--------	---

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明	
必要性	事業の市民ニーズ	評価対象外	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	既に存在するサテライト場等に車券発売の委託を行うことで、当該地に函館市がサテライト場の新設等をするのに比べてコストが低く抑えられるメリットがある。H26年度には消費税増税により、コスト増となっていることから、今後消費税が10%になった場合には更にコストの増加が見込まれる。
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性	
				受益者負担の適正度	適正	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	車券発売を外部に委託する事業であり、コスト面でも当市が売場開設するよりも効率的に行われている。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	
評価結果から明らかになった課題事項など		今後、消費税率が10%に上昇した場合に経費率も上昇し、H26年度と同規模の臨時場外車券売場開設があったとしても現在の収益水準を確保できなくなる可能性がある。				

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 売上増加、収益確保のため、引き続き臨時場外車券売場の増加のため各施行者に対して働きかけていく。
	現行どおり	(経費について) 今後、消費税率が10%になることが見込まれていることから、経費の大幅な増加とならないよう、関係機関に働きかけていく必要がある。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	H26年度における函館競輪場の臨時場外車券売場売上高は全国43競輪場のうち第16位である。 サテライト札幌を含めた臨時場外車券売場売上高は10,285,442,300円(全国43場平均は10,003,245,479円)であり、全国平均を約3%上回っている。
----------------------------	---